

指定校番号	31026	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長	枝廣 泰知	生徒指導主事	濱田 真司
-----	-------------	----	-------	--------	-------

**取組事例名** 『掃除』

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
課題発見解決力	2	主体性・積極性	1	高い志・使命感	3

**取組のねらい**

毎日取り組む掃除を充実させることで生徒の精神的な成長を促す。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『教員主導から生徒主導へ』
----------	--------------------------

- 掃除を効率よく集中して行えるよう今年度より時程を変更し、掃除の時間を15分から10分とした。
- 1学期は生徒指導主事の講話等、教員の指導と実態把握を中心に取り組み、2学期の「場を清める」というスローガンのもと、生徒会執行部と美化委員会を中心に生徒の自治的活動にシフトしていった。
- 生徒会執行部が作成した掃除の意識啓発と掃除方法の再確認を目的とした動画を生徒朝会において全校生徒で視聴した。
- 昨年度から継続している美化委員会による掃除の評価の集計等は継続して行った。

- 全職員にアンケートを行い、時程の変更を検討した。前年度の3学期末に試験的に時程を変更し、再度検討することで教職員の共通認識へとつながった。
- 動画作成にあたっては、生徒会執行部とのイメージのすり合わせや、目的を細かに確認して作業を進めた。



**取組の成果と課題**

- 1学期アンケート 「掃除時間、無言清掃をしている」 肯定的回答 85.4%
- 2学期アンケート 「掃除時間、無言清掃をしている」 肯定的回答 89.0%
- 成果
  - ・掃除時間を短くすることで生徒、そして教員も負担感なく掃除やその指導に取り組むことができた。業務改善の視点からも成果があった。
  - ・生徒の出演する動画は全校生徒が真剣に見ることができた。掃除に取り組む意識を変える良いきっかけとなり、生徒会執行部の自覚を促すことができた。
- 課題
  - ・肯定的な評価では良くなっているが4段階評価の3が多いため、今後の活動を継続し、より高い目標をもたせながら生徒会執行部への働きかけを行わなければならない。
  - ・客観的に見てよく取り組むようになった生徒の自己有用感については微増もしくは微減といった状態であるため、肯定的な評価を教員が意識する必要がある。